〔編集後記〕 〔廣田 映五〕

本号では直腸の孤立性潰瘍症候群や深在囊胞性大腸炎などとも言われている病変を“いわゆる粘膜脱症候群”として一括して掲載している．わが国では，癌と紛らわしく何か訳のわからない直腸の良性病変として扱われていた症例のうち，この範疇に入るものが相当多数あるものと推定される．

主題の項では，比較的多数例での検討結果，その臨床ならびに病理学的な特徴的所見が豊富かつ鮮明な画像写真によって示されている．長期経過観察例では，びらん，潰瘍，治癒，隆起性増殖性病変までの経過，つまり自然史の一過程がより一層明確にされている．なかでも組織学的病期分類(血管期，低線維筋症期，高線維筋症期)がなされ，肉眼形態分類との対比がなされた論文に注目されたい．

いずれの論文にも病理学的特徴的所見として，粘膜固有層の線維筋症が強調されているが，本症候群特有の病理学的所見ではないので注意を要する．

臨床的に類似疾患として癌，Crohn病，潰瘍性大腸炎，アメーバ症，その他，多くの炎症性疾患との鑑別点が随所に詳述されているので，診断に当たる諸医家にとって必読の書と思われる．主題研究では本症候群の小児における統計的調査結果が報告されている．また詳細な病理組織学的検討からinflammatory myoglandular polypと言う名称が提唱された．この点に関しては病理組織学的見地からは，ある程度容認されようが，臨床的疾患単位とするか否かには，なお検討の余地があるであろう．

胃と腸

12月号（第25巻・第12号）予 告

発売予定 12月3日
定 価 1,854円(税込)

主題／早期胃癌類似進行癌の診断

序 説 早期胃癌類似進行癌の診断……福岡大筑紫病院・消 八尾恒良

主 題 肉眼的に早期胃癌と判定した早期胃癌類似進行癌の実態
—肉眼所見と組織学的所見……大阪成人病センター・病理 石黒信吾・他

早期胃癌類似進行癌の検討
—進行胃癌類似早期癌と比較して……癌研・外科 太田恵一朗・他

早期胃癌類似進行癌診断の指標と確かさ……順大・消内 浜田 勉・他

早期胃癌類似進行癌の病理組織学的検討……慈恵医大・病理 下田忠和・他

誌上カンファランス この症例をどう読むか 八尾恒良・相部 剛・高木国夫・中野 浩・西澤 護・西俣寛人・廣田映五・渕上忠彦・細井董三・丸山雅一・望月福治・吉田茂昭・芳野純治・渡辺英伸

今月の症例 多発胃癌の1例……安佐市民病院・内 日高 徹・他

初心者講座 胃X線検査のポイント—私の検査法12.私のルーチン撮影法(2)……八尾恒良・芳野純治・浜田 勉

入門講座 小腸X線検査の実際《12》……福岡大筑紫病院・消 八尾恒良

胃と腸（第25巻 第11号）

編 集 早期胃癌研究会
発 行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優
〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3
☎ 社内案内 (03) 817-5600
本誌編集室直通 (03) 817-5714
販売部直通 (03) 817-5659

1990年11月25日発行(毎月25日発行)
1部定価1,854円(本体1,800円)(配送料81円)
年ぎめ予約購読料22,710円(本体22,049円)
(本年13冊) (送料弊社負担)
FAX (03) 815-7802
振替口座 東京7-96693番
印刷所 永和印刷(株) ☎(03)813-5001
広告取扱 医界弘報社 ☎(03)814-5771

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1990, Printed in Japan.
本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると，著作権の侵害となることがありますので御注意下さい．

(担当)長谷川・江口・窪田・大竹

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2012
2026/09/29 07:08:11